

内閣官房及び内閣法制局・内閣府本府入札等監視委員会
令和5年度第1回（第48回）合同会議議事概要

開催日及び場所	令和5年7月19日（水） WEB会議
委員	委員長 國廣 正（弁護士） 委員 今井 猛嘉（法政大学大学院法務研究科教授） 委員 大森 明（横浜国立大学経営学部長） 委員 寺田 麻佑（一橋大学大学院ソーシャル・データサイエンス研究科教授） 委員 長岡 美奈 ※（公認会計士） ※ 当番委員
議事	令和4年度第3・4四半期の契約に係る審議

○令和4年度第3・4四半期の契約に係る審議		
審議対象期間	令和4年10月1日～令和5年3月31日	
対象案件の説明	○対象期間における契約件数（内閣官房104件・内閣法制局0件・内閣府本府203件） ○審議案件抽出等の考え方について当番委員から説明 抽出にあたっての関心事項 ・低入札となった案件について、理由及び履行状況を確認する。 ・低入札で一者応札となった案件について、理由及び履行状況を確認する。 さらに以下の観点から各案件を抽出した。	
審議抽出案件	4件	
【一般競争入札】 最低価格落札方式	(内閣府) 2件 (関心事項) ・一者応札の理由は ・低入札の理由は	契約件名：迎賓館一般公開申込システム移行及び運用業務 契約相手：北電情報システムサービス（株） 契約金額：34,430,000円 契約日：令和4年11月1日 担当部局：迎賓館
		契約件名：日本学術会議ホームページ改修整備業務 契約相手：(株) Realmedia Lab. 契約金額：1,089,000円 契約日：令和4年12月26日 担当部局：日本学術会議事務局
【一般競争入札】 総合評価落札方式	(内閣府) 2件 (関心事項) ・一者応札の理由は ・低入札の理由は	契約件名：令和4年度ジェンダー投資に関する調査研究 契約相手：東京海上ディーアール（株） 契約金額：4,730,000円 契約日：令和4年11月15日 担当部局：男女共同参画局
		契約件名：次期総合防災情報システム要件定義・基本設計・詳細設計業務 契約相手：(株) 日立製作所 契約金額：53,864,800円 契約日：令和5年1月10日 担当部局：政策統括官（防災担当）
委員からの意見・質問 それに対する回答等	別紙のとおり	
委員会による意見の 具申又は勧告の内容	なし	

○その他
-

意見・質問	回答
1 迎賓館一般公開申込システム移行及び運用業務	
一者応札となった理由について確認したい。また、高落札率となった要因についてはどのように考えているか確認したい。	一者応札については、入札に参加しなかった業者に参加しなかった理由を確認したところ、人件費高騰の状況の下、社内体制の構築、人繰りが厳しいなどを踏まえ検討した結果、入札を見送ることにしたとの回答があった。 また高落札率については、市場価格等を基に決定した予定価格と入札額がたまたま近い金額になったものと考えている。
2 日本学術会議ホームページ改修整備業務	
今回入札に参加した4者のうち、落札業者が他者と比較してかなり低い金額で入札しているが、結果として問題なく履行されたのかを確認したい。	落札業者に対しては、低入札調査を行い、履行体制等を確認したうえで契約を行った。また、履行状況については、契約期間内に仕様書に沿った形でホームページの改修が行われている。
専門性の高い作業に見合っている単価設定であるか、適正なコストを会社の従業員たちは受け取っているのかなどを確認することも大事なことはないか。	落札業者は、社内の労働基準単価が安く、今回の調達で特別に安くしているということとはなかった。深く踏み込んだわけではないが、支払うべきものはしっかりと支払っていると回答を得ている。
3 令和4年度ジェンダー投資に関する調査研究	
低入札になった理由をどのように考えているか確認したい。	令和2年度に同じテーマの調査研究を落札した業者が今回も落札しており、前回の経験やノウハウを生かし、また当時の担当者が残っているなど業務の実施体制が整っていることから価格が抑えられたと聞いている。
一者応札になった理由をどのように考えているか。年度後半の発注は、業者が他の案件を請け負っているなどの理由で入札参加を見送っていることも考えられるので、入札を1～2か月前倒すれば応札者が増えるのではないか。	入札時期が11月であり、既に他の案件を受託しており新たな案件を受託することが難しいという業者もいたと考えられる。入札時期の前倒しについては、次回調達の際に調整の上検討する。
4 次期総合防災情報システム要件定義・基本設計・詳細設計業務	
技術点は低い価格点で上回った業者が落札し、低入札になっている。長期的な視点を踏まえると、質の比重(技術点)を高くする必要があるのではないか。	低入札については、落札後に提出された入札金額の内訳から大幅な値引きがあったことが判明したが、求める品質で履行完了できることを調査で確認の上で契約を行った。 なお、特に長期間運用するシステム分野に関し、質の比重(技術点)を高める方法については、今後検討したい。
○その他	
—	